

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
豊橋駅周辺地区

平成22年8月

愛知県豊橋市

1. 数値目標の達成状況の確認 (確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	駅利用者の満足度	%	9.2	40.0	68.3	確定 見込み	あり なし				改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	豊橋鉄道新豊橋駅の一面2線化及び南口自由連絡通路の整備により、乗り換えの利便性の向上や駅利用者の待機環境の改善が図られ、満足度が大幅に高まった。	
指標2	地区内の居住人口	人	23,858	23,800	23,436	確定 見込み	あり なし	23,334	H22年5月		景気後退の社会情勢を反映し、外国人居住者の減少が大きく響いた。	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	地区全体は減少傾向であるが、中心地の松山校区においては増加傾向がみられ、また、外国人を除けば、下げ止まり傾向にあり、都心居住の整備効果は現れてきている。
指標3	定点における歩行者通行量	人/日	23,838	25,300	25,065	確定 見込み	あり なし	25,268	H22年6月		優良建築物等整備事業による商業業務施設が完成し、着実に駅前の通行量は増加してきている。	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	優良建築物等整備事業、地域交流センター・子育て支援施設の集客施設を活用した地域との連携事業やイベントの開催等により、回遊性の向上が図られ、歩行者通行量の増加に繋がっている。
指標4						確定 見込み	あり なし		H 年 月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み	あり なし		H 年 月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地区内でのイベント開催件数	件	126	/	170	確定 見込み	/	173	H22年4月	/		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	新たに地域交流センター・子育て支援施設、優良建築物整備事業で整備した商業業務施設でのオープンスペース、区画整理により整備した南口駅前広場でのイベント開催が61増加したことで駅周辺地区での賑わいに寄与している。
その他の数値指標2	地区内の世帯数	世帯	9,599	/	9,900	確定 見込み	/	9,981	H22年5月	/		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	優良建築物等整備事業や民間事業により、良質な都市型住宅の供給がされ、世帯数の増加に繋がった。今後も老朽化した建物の更新を図る中で次世代に向けての住宅供給が図られる状況である。
その他の数値指標3	松山校区の人口	人	6,561	/	6,756	確定 見込み	/	6,722	H22年5月	/		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	着実に世帯数が増加していることから居住人口も増加が見込まれる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	駅の利用者が増加	駅利用者の円滑な公共交通機関乗り継ぎのための運賃等検索システムの導入やバス停案内版の整備を行った。	駅の利用者数は年々増加傾向を示している。
	公共施設や商業施設の整備によって歩行者通行量が増加	駅直近に商業業務施設ココラアベニューが優良建築物等整備事業により建設され平成21年11月にオープンした。また、既整備済再開発施設ココラフロント及び既存デッキとの接続によりデッキレベルでの移動が可能となった。	駅周辺の歩行者通行量は昨年以上に増加し、賑わいの創出に寄与している。
	商業サービス施設の整備による商業機能の強化	駅直近に商業業務施設ココラアベニューが優良建築物等整備事業により建設され平成21年11月にオープンした。	駅直近に新たに集客施設としての拠点施設が整備された。
	新規の世帯の流入	広小路三丁目地区の優良建築物等整備事業の計画的な事業進捗の推進	平成22年度に良質な住宅供給が図られるよう着実に事業進捗が図られている。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	駅の利用者や公共施設の利用者のまちなか回遊の促進	まちなかフェスティバル、アートイベント、駅前広場での農産物を中心とした旬祭市の開催、こども未来館交流事業等の実施	歩行者通行量の増加が見られ、デッキレベルでの移動が可能となったことで回遊性の向上が図られた。
	地区の商品販売額を増やす商業の活性化策の展開	商業業務施設ココラアベニューが建設され平成21年11月にオープン。 空き店舗対策により2店舗への支援。 新規事業者を対象にした開業支援セミナーの開催(3回/年、50人)	中心市街地の商品販売額は年々減少しており、今すぐの効果は現れない。少しでも減少傾向に歯止めがかかることを期待。
	人口増加につながる多様な世代の様々なライフスタイルの人々の流入・定住の促進	自転車通行空間整備により自転車、歩行者の通行空間を分離し、安全快適な環境を整備、運賃等検索システムの導入やバス停案内版の整備、優良建築物等整備事業による住宅供給施設建設の着実な実施	安心安全で住みやすい住環境整備が進んだ。
	まちなみ形成の推進	豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議により、10回の会議開催と「まちづくりニュースの発行」「地元商店街・自治会へのヒアリング」「まち歩き現状把握ワークショップ」を実施した。	関係者の問題意識の統一が図られ、地区の課題抽出、方針の検討により平成22年度作成するまちづくりビジョンの中間報告書が作成された。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
駅前大通南地区における老朽施設の再整備化(再開発事業の実施)	地区内の老朽化した既存公共施設と大規模商業施設を再開発事業により一体的整備を行うことにより、駅周辺に相応しい魅力ある回遊拠点となり、歩行者通行量の向上につなげる。	H23～H29	関係権利者による再開発の事業化に向けた勉強会を行う中で、早期の具現化できる計画の合意形成が必要である。
広小路地区の民間再開発事業による都心居住施設の整備	東口駅前に位置する地区で、商業機能の地盤沈下、老朽化が顕著であるため、低層部に商業施設、中高層部に住宅を導入し、商業機能の再生と都心居住を促進し、賑わいを取り戻す。	H23～H25	関係権利者のよる事業化に向けた早期の計画策定、合意形成が必要。